

2022 年 12 月 22 日

交野市長 山本景 様

2023 年度の予算編成と市政運営についての重点要望

日本共産党交野市会議員団

幹事長 藤田茉莉
皿海ふみ
北尾 学

日頃は、市民の声が届く市政の実現にむけたご尽力に感謝申し上げます。
来年度の予算編成と市政運営をすすめるにあたり、特に以下の点を検討いただき、予算に反映されることを強く要望いたします。

1 公共交通・バス等の充実にむけて

市長公約の「コミュニティバス等導入により地域の移動手段を確保」の実現にむけて、具体的な施策、検討をすすめること。

- ①寺・神宮寺地区の巡回バスを延伸すること。
- ②京阪バスと、便数・路線削減地域の改善等を協議すること。（北部路線の増便、南部路線の河内磐船駅行きなど）
- ③路線バスのない地域でのバス運行について
 - ・地域公共交通会議での検討時、住民参加を確保すること（地域を限定せず全中学校区等からの住民参加、高齢者団体・障害者団体の参加など）。
 - ・地域公共交通会議では、郡津などでのバス運行だけでなく、市内全域を見据えて、京阪バスの路線・便数削減地域、交通不便地域の対応も協議すること。
- ④外出支援策を拡充すること（高齢者タクシー補助の対象拡大など）。

2 一中校区の学校整備について

施設一体型小中一貫校でなく、小中別々での整備に切り替えること。

3 市庁舎の整備について

移転建て替えでなく、耐震改修を行う市の方針を決定し、具体的な事業計画を示すこと。

4 学校給食費の無償化を開始すること。

5 小中学校のトイレ改修計画を策定し、学校施設の改修を進めること。

6 加齢性難聴者の補聴器購入の補助を実施すること。

7 国民健康保険料の引き下げ、負担軽減を行うこと。

8 中学校の 35 人以下学級を実施すること。

9 コロナ禍、物価高騰のもとで、市民生活や営業の支援策を実施すること（水道基本料金の免除の延長、商品券の配布など）。

10 公私立の保育施設で、保育士を国の配置基準より手厚く配置すること。民間園ではそのための補助を実施すること。

以 上